

(6) 周辺地域や市民へ及ぼす影響

厚木基地が所在することで、周辺地域への様々な影響が懸念されます。大和市では国や米軍等に対し、米兵等による事件事故の発生防止や基地内施設の安全管理の徹底、有機フッ素化合物含有の泡消火剤の適切な維持管理と早期転換などの環境対策、各種感染症の拡大防止と衛生管理徹底など、周辺地域や市民の日常生活に影響を及ぼさないよう強く求めています。

～新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた意見交換～

令和元年（2019年）末から始まった世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、在日米軍基地でも感染者が発生する中、令和2年（2020年）4月に米海軍厚木航空施設でも感染者が発生しました。これを受け、令和2年（2020年）7月、大木哲大和市長は同施設を訪問し、同施設司令官



【マック大佐（当時）と大木市長】

ロイド・マック大佐（当時）と新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた意見交換を行いました。双方から、感染者の発生状況や感染拡大防止に向けた取り組み等を説明し、今後も大和市と米海軍厚木航空施設とが相互に情報を共有し、緊密に連携しながら感染拡大防止に取り組むことを確認しました。